



夢・希望・ちよつぱり不安

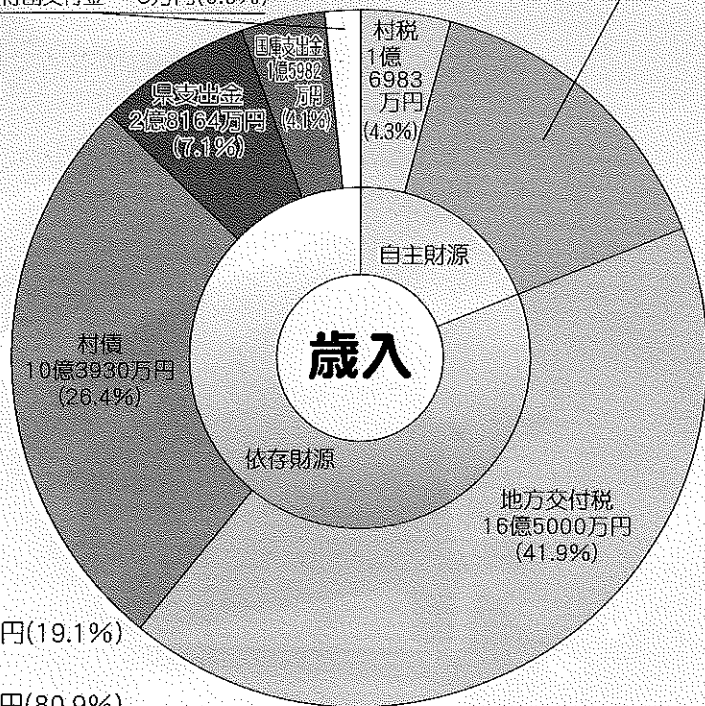
4/4 なるせ保育園 新入児を迎える会

積極予算を可決

食肉加工施設建設で雇用拡大と定住促進へ

- 地方譲与税 2900万円(0.7%)
- 地方消費税交付金 2200万円(0.6%)
- 自動車取得税交付金 400万円(0.1%)
- 地方特例交付金 40万円(0.0%)
- 利子割交付金 30万円(0.0%)
- 交通安全対策特別交付金 30万円(0.0%)
- 配当割り交付金 20万円(0.0%)
- 寄附金 20万円(0.0%)
- 株式等譲渡所得割交付金 3万円(0.0%)

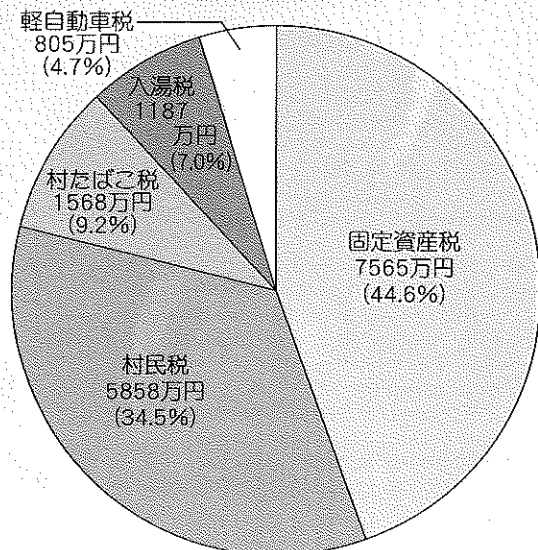
- 繰入金 3億4971万円(8.9%)
- 諸収入 1億8295万円(4.6%)
- 繰越金 2000万円(0.5%)
- 財産収入 1190万円(0.3%)
- 使用料及び手数料 1037万円(0.3%)
- 分担金及び負担金 805万円(0.2%)



3月定例会議は、6日から13日までの8日間の会期で開催されました。平成27年度一般会計予算など46議案は、すべて全会一致で原案のとおり可決されました。

一般質問は、2議員が登壇し、村政をただし、陳情6件を採択としました。また、3月末で任期満了となる副村長には、県職員の橋田正宏氏を選任しました。

村税の内訳



新年度予算の目玉は6次産業化

食肉加工施設で地方創生

平成27年度一般会計は40億円に迫る大型の予算を編成しました。

その背景には、少子高齢化に伴う、本格的な人口減少時代が到来し、地方では地域経済社会の維持が大きな行政課題となっており、国では、昨年12月に「まち・ひと・しごと創生長期ビジョン」を策定し、地方が自らの地域資源を活用し、多様な地域社会の形成する地方創生を掲げているためです。

村では地方創生元年とも言えるその主要施策として、現在、力を入れている畜産業の6次産業化を図るため、学校給食センターに食肉加工施設を併設する約7億円の予算を計上しました。

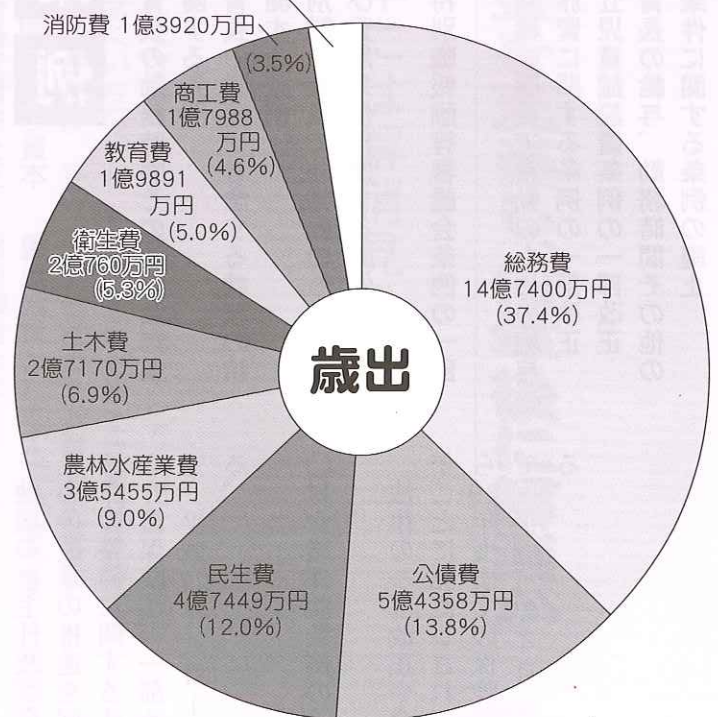
地方創生元年！

一般会計は39億4000万円、対前年度比27%大幅増

平成27年度の主要事業(1500万円以上抜粋)

移住定住促進事業	2900万円
公有林整備事業	1703万円
奨学資金貸付金	2530万円
ジュネス栗駒エリア施設整備事業	2700万円
雪冷熱利活用施設整備事業	3608万円
克雪関係施設整備事業	2500万円
地方創生事業	7億726万円
地方創生事業(繰越分)	5200万円
ゴミ処理施設整備事業(広域圏組合負担金)	1671万円
機構集積協力金事業	7520万円
県単農業夢プラン事業	3919万円
中山間地域等直接支払い事業	3488万円
米利用施設整備事業(繰越分)	1960万円
草地畜産基盤整備事業(繰越分)	3700万円
新規起業等育成支援金	8000万円
観光施設整備事業	1630万円
社会資本整備総合交付金事業	1億3770万円
消火栓設置工事	1500万円
簡易水道事業	3億7972万円

- 議会費 6508万円(1.7%)
- 労働費 1595万円(0.4%)
- 諸支出金 421万円(0.1%)
- 災害復旧費 85万円(0.0%)
- 予備費 1000万円(0.3%)



■各会計の予算額

会計名	予算額 (増減率 %)	
一般会計	39億4000万円 (27.0)	
特別会計	国民健康保険(事業勘定)	3億9329万円 (19.0)
	国民健康保険(直営診療施設勘定)	8079万円 (▲ 5.5)
	後期高齢者医療	2244万円 (▲ 9.2)
	介護保険(保険事業勘定)	3億 491万円 (19.3)
	介護保険(介護サービス事業勘定)	1億1658万円 (▲59.7)
	簡易水道事業	4億6208万円 (4.1)
	下水道事業	9968万円 (8.1)
	小計	14億7977万円 (▲ 2.8)
合計	54億1977万円 (17.2)	

この施設は民間企業への流通ルートを確保し、安定的な加工製品の供給による雇用の拡大、定住促進や地域産業の活性化を目的としています。この取り組みに対し、議会も全会一致で賛意を示しました。

しかしながら、ここ数年の建設事業に伴い、財政調整基金の減少や公債費残高の増加は少なからず、今後の財政運営に影響が現れると予想されており、簡素で効率的な財政運営が求められています。

副村長に

もちだまさひろ
糯田正宏氏

人事案に同意！

3月定例会議の最終日となった13日に議案の審議が行われました。平成27年3月31日で任期満了となる副村長に県職員員の糯田氏を選任する人事案が追加で提出され、全会一致で同意しました。
条例など決定となった事項の内容をお知らせします。

人事

副村長



糯田 正宏
(横手市 44歳)
【新任】

任期 平成27年4月1日から
平成31年3月31日まで

条例

- 教育長の勤務時間その他の勤務条件に関する条例
- 教育長の職務に専念する義務の特別に関する条例
- 特別職の職員で非常勤のもの報酬及び費用弁償に関する条例の一部改正
- 村特別職報酬等審議会条例の一部改正
- 特別職の職員で常勤のもの給与及び旅費に関する条例の一部改正
- 村立児童館設置条例の一部改正
- 教育長の給与、勤務時間その他の勤務条件に関する条例の廃止

3月定例会議

教育委員長と教育長を一本化する新「教育長」の設置を柱とする新たな教育委員会制度の創設により、関連する条例を制定・改正・廃止した。平成27年4月1日から施行されるが、在職中の教育長には経過措置が適用される。

- 村指定介護予防支援等の事業の人員及び運営並びに指定介護予防支援等に係る介護予防のための効果的な支援の方法に関する基準を定める条例
- 村包括的支援事業の実施に関する基準を定める条例

地域の自主性及び自立性を高めるための改革の推進を図るための関係法律の整備に関する法律の施行による介護保険法の一部改正に伴う条例で、平成27年4月1日から施行する。

- 村介護保険条例の一部改正
- 法律の一部改正や介護保険料は3年ごとに見直しされており27年度から29年度までの保険料を定めたもので、平成27年4月1日から施行する。

○村特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の利用者負担額を定める条例

- 村立保育所設置条例の一部改正
- 村保育の実施に関する条例の廃止
- 児童福祉法に基づく保育料徴収条例の廃止

子ども・子育て支援法などの施行により関連する条例を制定・改正したもので、平成27年4月1日から施行する。

- 村簡易水道事業給水条例の一部改正

町村電算共同化に伴い、水道料金の算定方法の見直しや冬期間の水道料金一括納入による一時的負担の軽減を図ったもので、平成27年4月1日から施行する。

常任委員会の複数所属化へ

議員提案で条例改正！

- 村議会委員会条例の一部改正

二つの常任委員会の複数所属を可能とするため、現在、5名の定員を10名とする内容で、平成27年4月30日から施行する。

高校生入学時まで拡大

第3子以降は合計で100万円！

子育て支援金

3月定例会議において、人口増加を願い、出産を奨励し、子育てを支援するための支給金を定めた「子育て支援金条例」の一部改正が行われ、高校生入学時の支援金を創設するとともに、施行後に生まれた第3子以降については大幅に増額することを全会一致で決定しました。平成27年4月2日から施行されます。

◇子育て支援金支給額の改正一覧◇

区分	支給時期	支給額		
		改正前	改正後	
			平成18年4月2日から平成27年4月1日まで生まれた子	平成27年4月2日以降に生まれた子
第1子及び第2子	出生時	30,000円	30,000円	30,000円
	小学校入学時	30,000円	30,000円	30,000円
	中学校入学時	30,000円	30,000円	50,000円
	15歳に達する日以後の最初の4月2日		30,000円	50,000円
第3子	出生時	50,000円	50,000円	200,000円
	小学校入学時	50,000円	50,000円	200,000円
	中学校入学時	50,000円	50,000円	300,000円
	15歳に達する日以後の最初の4月2日		50,000円	300,000円

通年議会が最大の成果

議会改革特別委員会報告



本会議初日で報告を行う佐々木委員長

3月定例会議初日、議会改革特別委員会（委員長・佐々木健夫）から、9項目の改革課題に対し、検討を重ねた最終的な報告が行われました。中間（平成24年6月定例会）で報告した「通年議会」の導入案が、昨年からは施行され、機動的で柔軟な委員会活動が可能となったことや任期内で結論の出なかった課題は、新たな議会へと引き継ぐことを確認し、議会改革に取り組み方針が変わりがないことを強調しました。

2施設を新規に指定

指定管理者の指定

村有2施設に指定管理者を適用し、その管理者を指定しました。

○田子内ミニライズセンター

【指定管理者】

農事組合法人 アグリード仙人

代表理事 佐々木 進

【指定期間】

平成27年4月1日から

平成32年3月31日まで

○米利用施設（なるせ米センター）

【指定管理者】

農事組合法人 滝ノ沢ファーム

代表理事 柳 一雄

【指定期間】

平成27年4月1日から

平成30年3月31日まで



米利用施設は滝ノ沢ファームが管理

請願・陳情



常任委員会の陳情審査

2月臨時会議で1件の陳情、3月定例会議で8件の陳情が提出され、所管する常任委員会に付託し、審査の結果、7件を採択、1件を趣旨採択とすべきものとし、採択された陳情は、要請に基づき、意見書を提出することに決定しました。
また、1件は審査を継続しています。

採択とした陳情

「集团的自衛権行使を容認した閣議決定に反対し、撤回を求める意見書」の採択等を求める陳情

(陳情者) 秋田弁護士会

会長 加藤 謙

○最低賃金の改善と中小企業支援の拡充を求める陳情

(陳情者) 秋田県春闘共闘懇談会

代表委員 中村 秀也

○労働時間法制の規制強化と安定雇用の確立を求める陳情

(陳情者) 秋田県春闘共闘懇談会

代表委員 中村 秀也

○介護報酬の引き下げに反対し、介護事業所の経営安定と介護労働者の処遇改善をめざす陳情

(陳情者) 秋田県春闘共闘懇談会

代表委員 中村 秀也

○集团的自衛権の行使を容認する閣議決定の撤回を求める陳情

(陳情者) 秋田・戦争をさせない1000人委員会 代表 山縣 稔

○農協改革をはじめとした「農業改革」に関する陳情

(陳情者) 農民運動秋田県連合会

代表者 鈴木万喜夫

○米価対策の意見書を求める陳情

(陳情者) 農民運動秋田県連合会

代表者 鈴木万喜夫

趣旨採択とした陳情

○TPP交渉に関する陳情

(陳情者) 農民運動秋田県連合会

代表者 鈴木万喜夫

審査継続とした陳情

○沖縄県名護市辺野古新基地建設工事の中止を求める陳情

(陳情者) 秋田・戦争をさせない1000人委員会 代表 山縣 稔

3月定例会議議決事項名

教育長の勤務時間その他の勤務条件に関する条例 (4ページ参照)	平成26年度国民健康保険特別会計(直営診療施設勘定)補正予算(第3号)
教育長の職務に専念する義務の特例に関する条例 (4ページ参照)	平成26年度後期高齢者医療特別会計補正予算(第2号)
指定介護予防支援等の事業の人員及び運営並びに指定介護予防支援等に係る介護予防のための効果的な支援の方法に関する基準を定める条例(4ページ参照)	平成26年度介護保険特別会計(保険事業勘定)補正予算(第3号)
包括的支援事業の実施に関する基準を定める条例 (4ページ参照)	平成26年度介護保険特別会計(介護サービス事業勘定)補正予算(第4号)
特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の利用者負担額を定める条例 (4ページ参照)	平成26年度簡易水道事業特別会計補正予算(第3号)
特別職の職員で非常勤のものの報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例 (4ページ参照)	平成26年度下水道事業特別会計補正予算(第5号)
特別職報酬等審議会条例の一部を改正する条例 (4ページ参照)	平成27年度一般会計予算
特別職の職員で常勤のものの給与及び旅費に関する条例の一部を改正する条例 (4ページ参照)	平成27年度国民健康保険特別会計(事業勘定)予算
村立保育所設置条例の一部を改正する条例 (4ページ参照)	平成27年度国民健康保険特別会計(直営診療施設勘定)予算
村立児童館設置条例の一部を改正する条例 (4ページ参照)	平成27年度後期高齢者医療特別会計予算
介護保険条例の一部を改正する条例 (4ページ参照)	平成27年度介護保険特別会計(保険事業勘定)予算
簡易水道事業給水条例の一部を改正する条例 (4ページ参照)	平成27年度介護保険特別会計(介護サービス事業勘定)予算
教育長の給与、勤務時間その他の勤務条件に関する条例を廃止する条例 (4ページ参照)	平成27年度簡易水道事業特別会計予算
保育の実施に関する条例を廃止する条例 (4ページ参照)	平成27年度下水道事業特別会計予算
児童福祉法に基づく保育料徴収条例を廃止する条例 (4ページ参照)	平成27年度介護保険特別会計(介護サービス事業勘定)への繰入れ
指定管理者の指定 (5ページ参照)	平成27年度簡易水道事業特別会計への繰入れ
指定管理者の指定 (5ページ参照)	平成27年度下水道事業特別会計への繰入れ
村道路線の認定	子育て支援金条例の一部を改正する条例 (5ページ参照)
平成26年度一般会計補正予算(第8号)(7ページ参照)	副村長の選任 (4ページ参照)
平成26年度国民健康保険特別会計(事業勘定)補正予算(第4号)	村議会委員会条例の一部を改正する条例 (4ページ参照)

質疑



白熱

予算特別委員会（委員長・佐々木謙吉）は、11日と12日の2日間の日程で開かれました。一般会計における主な質疑の内容を要約してお知らせします。

平成26年度

一般会計補正予算（第8号）

繰越明許費

備品購入で繰り越す理由は

質問 米利用施設における備品購入を繰越す理由は。

答弁 フォークリフトを購入するものだが、降雪のため、冬囲いをしたことにより中に入れることができなくなったため、雪が消えてから行いたい。

歳入

補助率などあるか

質問 地方創生交付金は補助率などがあるか。

答弁 定まっていない。今回は地域消費喚起・生活支援型と先行型に対する交付金となっている。限度額等もない。

最高額は

質問 ふるさと納税は何人が、また、最も高額は。

答弁 12月末で69人、最高額は65万円となっている。

歳出

【地方創生事業関連】

ブランド米育成の内容は

質問 ブランド米は農業法人4団体などが統一した形で作るのか。

答弁 一定の基準をクリアしたものを仙人米として販売先へ出荷する予定であり、4法人を中心に協議を行っている。

プレミアム商品券の内容

質問 プレミアム商品券の内容は。また、農協でも使えるか。

答弁 村内事業所を対象とした商品券1万円に対し、村負

担で2000円を上乗せする。500円券を24枚綴り1500セットを予定している。農協でも使用できる。

定住促進奨励事業の内容は

質問 移住者に対する奨励金として40人分を計上している事業の内容は。

答弁 移住者1人あたり5万円を交付する。

減額の理由は

質問 ミニライスカンター備品購入878万円の減額理由はなにか。

答弁 予定した基数を行っており請負差額となっている。1基あたり110万円から120万円となっている。

答弁 手倉地区のミニライスカンターに精米機を設置する予定だったが、現段階では対応できないとの理由で減額した。

質問 工事をしなかったのが、安かったのか

質問 消火栓設置工事費の減額理由は何か、また1基あたりの額は。

26年度一般会計補正予算(第8号)の主なもの	
歳入	
○国庫支出金	
地域活性化・地域住民生活等緊急支援交付金	3202万円
○諸収入	
桧山台地区地目差補償金増	4407万円
歳出	
○総務費	
地方創生事業費（抜粋）	
・商品券発行業務委託料	600万円
・地方創生計画策定業務委託料	550万円
・米袋等作製業務委託料	300万円
・販路開拓業務委託料	550万円
・雪対策助成事業助成金	150万円
・保育料支援事業助成金	210万円
・定住促進奨励事業助成金	485万円
・定住促進空き家リフォーム支援事業助成金	300万円
・地産地消推進事業助成金	200万円
・東成瀬産米育成事業助成金	1000万円

平成27年度
当初予算

疑問を一掃 徹底審査

歳入

アベノミクス効果は

質問 個人村民税が減少しておりアベノミクスの経済効果が出ているのか把握できない。

答弁 均等割りの納税者数が減少している。27年度の申告が作業中であり、どう反映されてくるのか把握できない。

歳出

【総務費】

新規の機構負担金、内容は

質問 地方公共団体情報システム機構負担金とは。

答弁 マイナンバー制度に関するもので、国が設立する機構に対する負担金となっている。国が100%補助する。

備品購入費780万円の内容は

質問 財産管理費に計上した備品購入費780万円の内容は。

答弁 主に村長公用車で、既に30万キロを超えている。

加入のメリットは

質問 東成瀬応援団の金銭的なメリットはあるか。

答弁 会員証の交付時に村内物産の引換券を贈っている。また、パークゴルフ場、スキー場の利用料から10%程度、入浴料を施設にに応じて1000円から2000円を割引している。

協力隊員の基準

質問 村内の方が転出し戻ってきて協力隊員として定住した場合は、報酬など基準はあるか。

答弁 総務省の事業要綱を基準として合致すれば受け入れは可能です。定住については3年が経過しておらず回答できない。

どのような住宅か

質問 定住促進のための住宅整備のための用地はどこを予定しているか。また、住宅の形状は。

答弁 大字田子内地区を中心に検討している。現在想定している住宅は単身者、夫婦世帯向けの住宅でアパート形式を予定している。

貸付状況は

質問 奨学資金貸付金の状況は。

答弁 継続として、高校生15人、短大・大学生が21人で新規として高校生5人、短大・大学は13

人となっている。

空き家活用は

質問 住宅整備に空き家のリフォームなど考えられないか。

答弁 地域創生事業の中で移住空き家リフォーム事業の予算を計上している。

用地のわりには

質問 なるせ加工所に隣接を予定している雪室は用地のわりには小さいように思えるが、他の構想があるのか。

答弁 西側に畑などのハウスの設置や駐車スペース、雪をおす場所が必要となる。また、将来的には夢なるせ直売所の冬期営業も想定している。



東日本大震災4周年となった初日は黙祷から始まりました。

給食センター・食肉加工複合施設関連

質問 中学校西側に建設予定の給食センターと食肉加工の複合施設、衛生面で問題はないか。また、将来的には一体的な管理か。

答弁 保健所では大きなくりとしてどちらも加工施設と捉えているが、目的が違っており指導を受けながら行う。将来的には給食センターも食肉加工と同一の組織で可能と考えている。

交通量が多くなること

質問 予想される通学路の安全対策は。

答弁 従業員の通勤が通学と重なる予想しており、生コン側から入るよう検討している。食肉は2日に1回程度の搬入で1週間程度分を運んでいくとのことなので通学とは重ならないと思う。

【民生費】

大幅増額の理由は

質問 子育て支援金の大幅な増額理由はなにか。

答弁 現在の制度に高校入学時

にも支給額を拡大するもので、第一・二子3万円、第三子5万円として一人親家庭はこの額の倍を支給する内容。これから生まれる第三子については高校入学時に30万円を支給したい。

不快の声もあるが

質問 自殺予防の「のぼり旗」が不快だとの意見もあるが。

答弁 前にもそのような意見があったが、啓蒙普及という視点から進めていきたい。

【農林水産業費】

1000万円の根拠

質問 畜産施設等指定管理用、1000万円の根拠は。また、機械借上料の大幅な増額は。

答弁 施設と牧場の管理をそれぞれ500万円として1000万円とした。旧畜産センターは700万円だったが、施設の規模が大きくなっており増額とした。また、借上料は畜舎周辺の除雪分で実績から1ヶ月約350万円の約3ヶ月分を計上している。

【商工費】

最終年度になるが

質問 新規起業等育成支援金事業は27年度で終了予定だが、新たに申請する法人は何社か、また、今後の方向は。

答弁 新規の申請を予定しているのは2社で、今後については27年度で検討する。

村と会社の仕分けは

質問 観光パンフレット印刷費を増額しているが、村と三セクなど区分けは。

答弁 村の観光パンフの増刷分とダイジェスト版の作製を予定している。

【土木費】

495mの工事区間はどこか

質問 滝ノ沢平良線流雪溝整備の区間は。

答弁 2カ年計画で平良の集落内、上流から下流まで、小貫山堰への流末工事を計画している。

700万の用地購入はどこか

質問 用地購入費の700万円

はどこか。

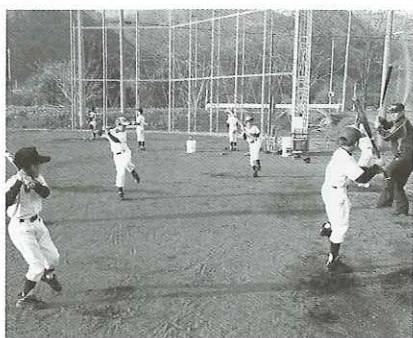
答弁 平良に向かって十二橋の右側で残土置き場となる。

【教育費】

ナイター照明の形態は

質問 多目的グラウンドに設置する照明設備はどのようなものか。災害時、消防団活動、イベントなどへの活用を考えた利用価値の高いものを提案しているが、それらは考慮したか。

答弁 野球場のレフトとライトに1基ずつ2基設置する。移動式は、管理や安全面で厳しいと判断し、野球場の照明設備とした。消防団の練習にはレフト側の照明を向けるなどの案を考えている。



照明設備は野球スポ少に朗報

佐々木 正利 議員

雪下ろし対策、改修に補助制度創設を

村長 転落防止も視野に検討していく必要がある

質問 雪下ろし作業事故防止策として、落雪型の屋根を推奨し、改修する場合の補助金制度を新設する考えはないか。

村長 現行の住宅リフォーム等促進事業補助金でも対応できるが、屋根改修となると、現在の補助制度の上限額では、おそらく不足するだろうと思う。今後、具体的に検討していかねばいけない事案ではないかと思っている。転落防止の設置等も視野に入れた補助制度をいろいろ検討していく必要があると考えている。

質問 村道舗装補修について
質問 雪解けと共に村道の凹凸など舗装の傷みが見えてく

る。毎年、簡易的に補修されているが、年々痛みがひどくなっている箇所も見受けられる。損傷の調査は毎年実施しているか。又、実施している時期はいつか。

村長 毎年、雪消えと同時に全村的なパトロールを実施して、応急補修をする場所については、随時実施している。降雪があつて根雪になるまでの間にも結構傷みが激しい状況にあるので、年に春と秋、融雪時と降雪時の対策を検討していかねばならないと思う。

質問 調査結果を台帳管理しているか。
村長 一般的な補修工事については、台帳整備で補修状況を整理していない。

質問 損傷の度合いによっては年次計画で対応しているか。

村長 毎年傷みがあるところには、路盤工から含めた改修工事をしていく必要があるかと思う。大規模な工事については、社会資本整備総合交付金事業等を使い、路面性状調査を行いながら、年次計画で進めている。



雪解けとともに道路の傷みも激しく

雪冷熱活用実証事業について

質問 大規模改修を行った育苗センターでの雪冷熱活用実証事業は農産物のどの品目を想定しているのか、どのような運営形態での実証計画か。又、今まで実施してきた水耕栽培の結果は。

村長 雪冷熱活用実証事業の品目としてはレタス、トマト、平良カブ、仙人ユリ、リンドウ等があるが、今考えているのは、主に水耕栽培を想定しており、品目としては、主に葉物野菜を考えている。運営形態は法人等を考えており、アグリード仙人やなる

せ農園に関わっていただけなのか、今後協議していかねければと思う。周年の収穫量と光熱水費のコストがこれからの課題であり、実証試験をする予定である。

水耕栽培の結果については、栽培する適温が15度から18度と言われており、春先と秋は想定したような収穫があった。10種類ほどの野菜を試験的に栽培したが、適している品目は葉物で、レタスやサンチエ等が有望ではないかと考えている。これらについては市場価値も高いようであり、良い感触を持っている。



村政を問う

佐々木 健 夫 議員

第三セク赤字に資本金を充当し、何年後に解消か

村長 平成33年には解消見込み

質問 第三セク資本金2億4500万円から2億円を減資して3億1600万円の累積

欠損金（赤字）に充て、赤字の早期解消をはかるとのことだが、解消は何年ごろになるか。

村長 今後年間1500万円の利益を想定すると、平成33年には健全な状態になるように見込んでそれに向かい努力していきたい。

質問 資本金減と法人税減の関連

村長 会社の資本金を1億円以下にすることで、法人税が年間2百万円ぐらい節減になるとのことだが、だとすればもっと早く対応するべきではなかったか。

村長 会社として改善、改革して経営がうまくいかないか検討してこれまでできたが、平成18年に会社法等により資本金を減資して繰越欠損金を圧縮することが可能になったので、平成26年12月の臨時総会で資本金と資本準備金を減資して繰越欠損金に充当することが承認されたため、今回対応することになった。

質問 村創生戦略を職員検討委員会が検討する以前に村長自身としてどのようなデザインを描くか。

村長 子育て・教育環境日本一目標、移住・定住では公営住宅整備としてアパート建設、雇用対策では農林産物・観光物産の6次産業化などを重点施策として人口の増や流出の抑制につなげていきたいと考えている。

質問 住宅整備としてアパート建設、雇用対策では農林産物・観光物産の6次産業化などを重点施策として人口の増や流出の抑制につなげていきたいと考えている。

村の将来人口を試算すべき

質問 25年後の村の人口は1719人と試算されている。12月の広報の村の人口は2698人となった。村の将来人口を試算してみるべきではないか。

村長 国や関係機関の将来人口統計を資料にして、村でも検討委員会等で検討を加え村の将来人口を試算し、それを基にいろいろな対策を具体的に取り組んでいきたい。

質問 村創生版は村民手づくりで策定を

村長 村創生版は村民が主体で納得する手づくりで策定することはどうか。

村長 村づくり推進委員を募集しているし、職員検討委員会報告書を参考にしながら村民の意見を基本にした手づくりの創生戦略を策定していきたい。

質問 村創生版は村民手づくりで策定を

村長 村づくり推進委員を募集しているし、職員検討委員会報告書を参考にしながら村民の意見を基本にした手づくりの創生戦略を策定していきたい。

村長 39億4000万円の

質問 村創生版は村民手づくりで策定を

村長 村創生版は村民が主体で納得する手づくりで策定することはどうか。

質問 村創生版は村民手づくりで策定を

村長 村創生版は村民が主体で納得する手づくりで策定することはどうか。



功績を讃えて！

自治功労者表彰

3月定例会議に先立ち、議員として長年、地方自治に貢献した功績を讃える自治功労者表彰の伝達式が行われました。

【全国町村議会議長会表彰】

27年表彰 佐藤 正次郎

15年表彰 高橋 健 谷藤 怜子

佐々木 正夫

【秋田県町村議会議長会表彰】

11年表彰 佐々木 健夫



最長となる27年表彰の伝達を受ける佐藤正次郎議員

雪対策に6000万円の追加

2月臨時会議

2月5日に臨時会議が開催され、一般会計の補正予算案1件が提出され、全会一致で可決されました。

また、1月招集会議で所管の常任委員会に付託されていた陳情1件が採択されました。

－主な内容－

○庁舎など雪対策費 620万円

○公共畜産施設の除雪費 1200万円

○冬期交通対策費 4230万円



第2回2月臨時会議

期待膨らむ

議員・職員研修会

3月定例会議終了後に議員と村職員を対象に研修会が開催されました。

講師は、村が27年度に建設を予定している食肉などの加工施設の製品の供給先であり、村における6次産業化にも進出を予定している(株)フードワークス代表取締役の宮本圭一氏で期待が膨らむ講演となりました。

(株)フードワークスは首都圏、京都、ベトナムなどに料亭からファーストフードなど約50店舗を経営しており、昨年12月には、埼玉県越谷市のイオンレイクタウンに本村の日本短角牛(赤べこ)を食材とする鉄板焼きのレストランを開店しています。



(株)フードワークス代表取締役の宮本氏

議会運営の指針

議会全員協議会



改選前に「議会基準」を定めました

3月25日、防災情報センターで議会全員協議会を開催し、議会運営の指針となる「議会基準」について最終的な協議を行いました。

議会基準は、地方自治法や村議会委員会条例などで定められている事項に対し、正確な議会運営を行えるよう、また、改選があっても先の例として、対応に苦慮しないようルールを定めるものです。

議会改革特別委員会の答申を受け、議会運営委員会がその案を示し、議会全員協議会で最終的に了承され、改選後の議会から適用されることになりました。

常任委員会合同 視察レポート

2月25日に常任委員会合同で管外視察を実施しました。今回の調査事項は建設が予定されている食肉加工施設に関連するもので、横手市の有限会社秋田かまくらミートと株式会社菅与で調査を実施しました。



横手市に本社がある「秋田かまくらミート」

有限会社かまくらミート（代表取締役 村上政勝氏）は横手市に本社を置き、牛肉を主体に豚肉、鶏肉まで幅広く扱っています。具体的には、食肉を枝肉やブロック肉の状態まで加工されたものを仕入れ、カット、小分けしたうえでスーパーやホテル、飲食店、



徹底した衛生管理の加工施設内部

農協、食肉卸や小売業者に納入しています。取り扱いの中心となっているのは秋田県産の牛肉で、自社ブランドの「横手黒毛和牛」や「みなせ牛」のほかに、「八幡平ポーク」と菅与ブランド「笑子豚（エコブルー）」と呼ばれる銘柄豚など秋田県産の上質な「こだわり商品」を積極的に販売しています。



社長の村上氏

代表取締役の村上氏は、これから高齢化社会や東京オリ

ンピックによる海外からの旅行者を考えた場合、村が行っている赤身肉の「赤べこ（日本短角牛）」ブランド化は非常に有望と評価をされました。

食品ロスを畜産飼料に



工場に大量のパンや麺が山積み

液状の飼料を生産しています。この飼料は自社の農場へ運ばれ、甘く柔らかい肉質の「笑子豚（エコブルー）」というブランド豚を生産しています。



食品ロスが液体飼料に生まれ変わる

株式会社菅与（代表取締役菅原一範氏）は、「赤べこ」のブランド化に取り組み、ウル井地区の畜産施設の指定管理を行っている「赤べこ仙人ファーム」の親会社です。今回視察した施設は、横手市にある「食品リサイクル工場」で、食品加工の過程で生じる不良品や消費期限の切れた食品ロスを東北・関東方面の工場から1日30トン前後を入荷し、乳酸菌を加え発酵させ、

食品ロスを家畜飼料として再生し、その家畜から出る堆肥は土に還り、新たな食物を育てる資源循環型のシステムを構築しており、その過程ですべてに利益が生じる画期的な循環システムと言えます。



工場前で記念撮影、前列右から2人目が菅原社長



笑顔が素敵でやさしい副村長でした。

この人に聞きたい

かほ KahOの突撃

いんたびゅう

今回は、4月から副村長として就任されました
橋田正宏(もちだ まさひろ)副村長にインタビュー
してみました。

- かほ** ご出身は増田町と聞いておりますが？
- 橋田** 増田町の本町に住んでおります。
- かほ** 突然ですが、独身ですか？
- 橋田** 残念ながら独身ではありません。なんか合コンみたいですね(笑)
- かほ** すみませくん！お若いので独身かと思っちゃいました。(汗)
- かほ** 失礼ですが、年齢、血液型と家族構成を教えてくださいませんか？
- 橋田** 44歳O型で、父母、妻と小学6年生の男の子と5人暮らしです。
- かほ** 趣味やマイブームなどは？
- 橋田** 推理小説が好きでよく読みます。
- かほ** お酒が強そうですが、晩酌はしますか？
- 橋田** 毎日飲みます！日本酒を3合くらい。
- かほ** 休日の過ごし方は？
- 橋田** 子供の野球観戦で、あっち行ったり、こっち行ったりで、結構忙しいです。
- かほ** 自分の性格を一言でいうと、のんびり屋かな？
- かほ** 好きな言葉は？
- 橋田** 「二日一歩」です。
- かほ** 県庁から出向されているということですが、これまでの主なお仕事は？
- 橋田** 福祉に関する仕事をしていて、障害福祉や介護保険などをやっていました。
- かほ** 東成瀬村の印象は？
- 橋田** 心優しく、良い人がたくさんいて、ホッとする感じがします。
- かほ** 副村長の席からの眺めと、居心地は？
- 橋田** パーティションに仕切られていて、職員の顔が見えなくて残念です。居心地は：まだ慣れなくて落ち着かないです。
- かほ** 最後に副村長就任のメッセージをお願いします。
- 橋田** 2年ぶりに、また東成瀬村でお仕事をさせて頂くことになりました。皆さんお気軽に声をかけて下さい！皆様からのご協力を頂きますので、よろしくお願いいたします。
- かほ** お忙しい中、ありがとうございます。今後の活躍を期待しています。

暫時休憩

さんじ きゅうけい

▼ねんりんピックのパークゴルフ。わが村が会場に決定。パークゴルフ場が村民の健康増進のためにも賑わってくださることを願っている。

▼四月四日の夜は皆既月食。雲で見え隠れはしたが、赤銅色の月を観ることができた。

▼四月七日は入学式。小学校三十一名、中学校二十一名の新入生。小学校は、六年生が三十四名と今がピーク時かもしれない。学力日本一、子育て支援策も充実しているわが村。人口増加を願わずにはいられない。

▼人生は出会いと別れのくり返し。長い間、お世話になった皆様方には感謝の一言です。

(委員長・谷藤 怜子)